THE LADIES' JOURNAL OF EDUCATION.

驛遞局認可

明治十九年七月十五日　定價金四錢

女學雜誌

第三十號

每月三回發行

績文舍

Digitized by Google
Original from CORNELL UNIVERSITY

目録

●（官報）●（女學叢誌）男女の關係●（中外新報）十六件●（學藝一斑）理學一斑●（列女傳）越後仙吉夫婦の傳●（雜記）英國演劇批評○西洋女禮一斑●（對譯）●（新作物語）巢守の妻第二回（春のや主人）●（家政要報）六件●（御伽草）新噺○取換ばや●數學問題及答等●（寄書）水中に空氣有無の答○婚姻弊害論

◎官報

明治十九年七月七日

○文部省訓令第七號

勅令第十三號師範學校令第十二條尋常師範學校の敎科書は當分左の圖書中より撰用すべし（但本文の圖書ヲ改選し難き事由あるものは文部大臣の認可を經べし

明治十九年七月七日　文部大臣森　有禮

（倫理）圖書名著譯者○修身論、河津祐之○道義學（刊行中）ペイン著稲富孝季譯○論語、朱熹集註○中庸、朱熹章句○大學、朱熹章句○小學、朱熹編○孝經、孔安國傳

（敎育）敎育學、伊澤修二著○敎育新論、高嶺秀夫譯○小學敎育新篇、西村貞譯述○（譯註）如氏敎育學、有賀長雄譯○學校通論、箕作麟祥譯○學校管理法、伊澤修二等○學校管理法、ジョセフランドン原著外山一正補譯○日本敎育史略、大槻修二編那珂通高訂○巴史敎育史（刊行中）平山成信譯○平氏學校論略、村岡範爲馳譯○改正敎授術若林虎三郎白井毅編纂○幼稚園記關信三譯

（國語）語彙別記文部省編輯寮編纂○語彙活語指掌文部省編輯寮編纂○詞の八衢本居春庭著○詞の玉緒本居宣長著○日本文典中根淑著○初學日本文典物集高見著○日用文鑑小中村清矩中村秋香編輯○和文讀本稻垣千頴輯○和文規矩里見義著○和文敎科書下田歌子編輯○（改正）本朝文範稻垣千頴松岡太愿編輯○土佐日記紀貫之作○神皇正統記源親房選○文藝類纂榊原芳野編○消息文例松屋主人著○明治女用文小原燕子著○（女子）消息文範小原燕子著○（中小學用）女子文例岡野伊平編述

（漢文）正文章軌範謝枋得批選○續文章軌範鄒守益批選○唐宋八大家文讀本沈德潜評點○史記司馬遷著○春秋左氏傳杜預集解○日本外史賴襄著○孟子朱熹集註○謝選拾遺賴襄選○近世名家文粹東條永胤編輯○通鑑擥要姚培謙等錄○日本政記賴襄著○（近世名家）小品文鈔土原榮編○（再刻）日本文章軌範石川鴻齋批選

（數學）算術敎科書田中矢德編○商業算術書（第一第二二冊）ブライアント、ストラットン著森嶋修太郎譯述○筆算摘要神津道太郎譯○（新選）珠算精法（一至三三冊）駒野政和著○算顆術授業書遠藤利貞編○明治小學塵劫記（一二冊）福田理軒著述○代數敎科書田中矢德編輯○代數學（一至四四六）石川彝譯○幾何敎科書（上一冊）田中矢德編輯○幾何新論宮川保全譯○幾何學敎科書（首卷至六卷六冊）中條澄清譯

（簿記）簿記法小林儀秀譯○帳合の法福澤諭吉譯○簿記學階梯森下岩楠森嶋修太郎合著○簿記學例題森嶋修太郎著

（地理歷史）（改正）日本地誌要略大槻修二編○（新選）中地理書山田行元編述○藝氏地文學（刊行中）富士谷孝雄譯○國史擥要一二冊木村正辭編○日本文明史略（首卷一冊）物集高見著○皇朝史略靑山延于著○日本外史賴襄著○十八史略曾先之編次○（明治新刻）元明清史略石村貞一編次○清史擥要增田貢著○校正）萬國史略西村茂樹編輯○（低洛爾氏）萬國史木村一步永田健助海老名晋譯

（以下次號）

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

男女の關係

雪枝女史

優にやさしくたゞ顔色形容をつくろふて男子の喜びを買ふのみ婦女子の職分かハ、女子もまた造物主の眷顧を受けてこの世に生れ貴き職分を有するものにて人たるの分においては男子とすこしも異なるところなきものなるに開けやらぬ世の悲しさには腕力強きものはその弱きものを凌ぎ弱きを見てこれを扶くるの義氣なし左ればいづれの國にても太古野蠻の日にありてハ男子はつねに女子を使役し已れハ酒被りて室内に安臥しながら女子をば山に登りて薪を樵らしめ海に下りて魚を漁せしむるなどまことにいふに忍びざる事柄のみ多かりつるがその〻ち世の中次第に開け行くに隨ひ力業は漸く男子の擔任に歸しぬれど尚は男子を壓制するの餘習を蟬脱せず女子とさへいへば人間仲間を一段くだりて稍禽獸に近きもの〻ごとく賤蔑むぞいと淺ましきことなりける我が皇國のごときは恰もこの程度にありて婦女子の位置甚だ低く片田舍にいたれば男子に代りて女子みづから力役を執りその良人を安臥醉飽せしむるを以て妻たるもの〻職分のごと心得る土地もありとか聞く妾嘗て人のはなしを聞けるに越後の片田舍よてハ婦女子みな車を挽き魚賣りとなり濱邊より生魚を都會に擔ひ行くの急飛脚ハ婦女子つねにこれを務むといへり斯る鄙の習ひとて女子と生れたる甲斐にハ男子の一兩人養ハねばその役目立たずといひ居るよしなりその自立の氣象ハ左ることながらこれも矢張りひさしく男子の壓制を受け常にこれが爲めに苦役せられたる惡習の餘勢なりと知らる男子が女子のために養ハるるも女子が男子のために養ハる〻もその事ハ異なれど同じく野蠻世界の惡習にて文明世界の男女ハ相賴り相扶け互ひに杖となり柱となりてこれを小にしてハ一家を維持しこれを大にしてハその國を維持進歩せしむることとなり世の婦女子たるもの〻みな男子の厄介ものとなり徒らに紅粉を裝ひ嬌笑を呈するのみを以てその職分となせバ我が國に三千七百萬の人口ありといへどもその半バ則ち一千八百餘万人ハ國家を維持する上に取りて何等の功能もなく結局人口の一半たる男子のみの力らよりて國家を維持することゝなるべし斯くてハ國に勞働者すくなくして厄介人多く國家成立の基礎甚だ薄弱なるべき道理にて男女同等の位地を保ち互ひよ智識才能を競ふて毫しも讓らざるところの西洋諸國と駢馳すること能ハざれバ今

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

より男尊女卑の野蠻風を破り女子は益々奮ふてその位地を進め男子もまたこれが推轂者となりて我が邦從來の男女の關係を改良せずてやはあるべき

◎中外新報

○行幸行啓　聖上には去る九日午前八時四十分上野發別仕立の滊車にて栗橋驛へ行幸あらせ同所の鉄橋を天覽ありたるのち利根川西岸の御休憩所にて御晝餐遊ばされ捕魚游泳等を御覽せ午後三時三十分同所別仕立の滊車にて還幸あらせまた同日皇太后宮皇后宮には午後四時新宿御料地へ行啓御苑内御逍遙遊ばせて午後十時頃還御あらせたるやに承る

○御成　明宮殿下には去る六日午前高等師範學校内の幼稚園へ成せれたるよし

○北白川宮御婚儀　二品能久親王殿下には曩きに御息所光子の御方をパ御離縁相成りしが今般正二位公爵島津久光君の養女富子どのを迎へさせ給ふとゝ定り去る十日に御婚儀を行はせたるに付聖上よりは富小路待從を勅使として同宮へ白晒布廿匹鮮鯛一折酒一荷を御息所へは紅白縮緬四匹を賜はりまた皇后宮よりは掌典壬生廣子どのを差し遣はされ御息所へ白羽二重五匹を下賜あらせたるよしに承はる

○英國外務大臣の夜會　去る土曜日よグランヴィル伯(即ち外務大臣)および伯爵夫人の催ほされたる夜會にはウエストミンストル公および公爵夫人を始め參らせ貴族のかた〳〵は申すに及ばず社會に聞えたる紳士および令夫人令孃方多く招きに應じて參り集まられ各國の公使も各々令夫人を伴ひ參集ありたる中に支那公使および日本公使河瀨夫人をも見受け參らせぬ扨て會主グランヴィル伯爵夫人は電氣染青色の錦襴に栗色の花摸樣あるを着て美なる珠玉を飾られウエストミンストル公爵夫人の服は黑き絹地よ銀糸もて縫ひ摸樣あるを着させその他の令夫人令孃方も黑白紅色桃色繻子なんど思ひ〳〵よ衣飾りて我れ劣らじと互ひに美を競ひ華を戰はしてあたり目ばゆきまでにぞ見え給ひける(五月廿二日クヰーン新聞)

○東京舞踏會　同會の貴婦人達も先頃伊藤伯の邸に集會ありて會員增加のことにつき種々協議ありたるよし

○華族女學校　よてハ九月一日より各學級生徒五十名を募集せらるゝにつき華族學齡の女子は可成ろの父兄に於て奬勵し本月廿日までに同校へ入學の義出願あるべき旨去る七日德大寺華族局長官より各華族方へ通達せられたりと聞く

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

○英國皇太子及び皇妃の觀劇　皇太子及び太子の妃はこのほど姫宮御三方を伴はせてゲイエティー演劇場に臨ませ給ひリットル、ジャック、シェパードといへる滑稽演劇を御覧なはせたりしがそのときファレン嬢が左の歌をうたひたるにぞ御氣色殊に麗はしく見えさせ給ひぬとクヰーン新聞に見えたりいと拙劣なれども或は彼の國人情風俗の一斑を知る便ともなりぬべしと新体に倣ひ俗言を以てその歌を譯出しぬ記者思ふに彼の愛蘭土自治案の事を諷するの意にはあらざる歟

I'm told that Great Britain is going to decay,
But we mustn't blieve all we hear:
If once disunited she probably may,
Bnt we mustn't blieve all we hear;
For England and Scotland and Ireland and Wales
Are bound firm together by friendship's strong nails,
Which will not be broken by grandmama's tales.
For we mustn't blieve all we hear.

大英國は今將に衰ろふべしと人ぞいふ。
然れど我等の聞くことは。總て信とすべからず。
一度國の結合が。若しも弛んで解るなら。
左る事なしともいひ難し。されど我等の聞くことは總て信とすべからず。
イングランドやスコットや。アイルランドやウエールス。老婆の言も壞はし得ぬ。互ひの友誼の釘附けの。結合かたくあるなれば
然ば我等の聞く事は。總て信とす可らず。

○授業料改正　第一高等中學校にては去る十八年六月以來に入學したる生徒の内極めて貧困のものに限り授業料を減額して五十錢となせしところ本年六月より來る廿年七月まで七十錢と改めたるに付納めがたきものはその事情を詳かに認め正副保証人連署を以て願ひ出べき旨此ほど達せられたる由

○英國婦人使役法改良會　このごろ弊舍へ新着せる英國貴女新聞に曰く「去る十一日(五月)婦人使役法改良會の集會をひらかれたりこの會は英國女皇陛下獨逸國后およびその他やんごとなき御かた〴〵を始め奉り貴族方の會員となりて婦人の技藝教育および職業上使役法を改良せんとの目的を以て創設けられたるなり此日の會頭は今年會長の選びに當られたるフォルテスキュー伯ぞ勤められぬこの會の會長の席は今の保守黨の領袖たるサリスボリー公の祖父にて在はせ方も一度勤められたる位置なりけり扨てこの會の書記たるキング令孃は會頭の依頼により前年度の報告書を朗讀げ且つ曰く當國にて年々婦人の人口増殖するがゆゑに婦人に或る定りたる手職を授けその獨立を計ること愈々本會の自ら任せざるを得ざるの勢ひとなれり左れば本會に於て婦女の父兄たるものに何なりとも各々その子に適ひたる一職業を授くるの用意なかるべか

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

らず然らざれば人口の增殖に隨ひ益々孤獨の貧困者を增加すべしとの理由を懇々說諭したりまた是までの試驗にて婦人に適ひたる職業の種類を示さんに家屋の裝飾、ガラス拭、壁紙の彩色、花紋縫、木版畫の彫刻、クロム石版師、石版師、圖引、タイプライチング(機械にて活字を以て書寫すると)簿記法、髮結、活版職等は皆よく婦人の從事する職業なりと述べられ次にオーエン君は統計を示して結婚せざる婦人の多數なるとを證せられまたブライアント令孃は世の母親たるものその娘の爲先よ將來婚姻をなすべき對偶を求むるにも容易ならざるはどに婦人の數の男子に超過したるを知りながら倘ほ自分の娘のその餘分の數に算へらるゝことを思はず斯る母親達をして勞力は貴重にして懶怠は賤しむべくまた生涯を無用に消費するは恥べき事にして之を有用なる事に用ゐるの光榮あることを知らしむるは甚だ必要なれどもその事いとむづかしきことを述べられ其他にも貴重なる演說ありてのち集會員より會頭の勞を謝し一同解散せられたりと見ゆ

○淸樂會　河瀨議官の令閨を始めその他の貴婦人がた申合されて此頃神田多町二丁目の万金亭に於て淸樂會を催ほされ外國公使の夫人がたも參會せられたるよしにて聞く

○手內職博覽會　前の土曜日に倫敦府知事はギルド院(府廳)に於て手內職博覽會を開かれその出品の種類は、繪畫、油繪腐蝕銅版、木彫細工、陶器畫、組格子細工物(函根細工に能ある組み物の類ならん歟)水晶細工、各種の雛形等なりしこの會は英國中にて凡そ二百人はかりの銀行役員寄り集り一同にて人々をして餘暇を空しく消費さしめずまた二つには銀行雇人中の子弟の孤獨となりたるものに職業を授けんとの二樣の目的を以て三年前に創設し有名なるソル、ジョン、ロボックろの會長たり今は銀行に關係ある他の貴顯紳士の入會せられたるもの多く益々盛んに赴けり(五月廿二日の英國女皇新聞)

○帝國大學卒業證書授與式　を去る十日舊工部大學の中堂に於て行はれ朝野の貴顯紳士數百人を招待ありて午前八時一同着席し證書の授與畢りて渡邊總長祝詞の演說あり次に卒業生總代謝辭を述べ次に英國公使プランケット君祝詞を述べられ次に伊藤總理大臣祝詞を朗讀ありてその次に內閣御雇ロエスレル君獨逸語にて演說せられ式全く畢りたりまた夜に入り同校に於て渡邊總長および夫人は更らに內外の貴顯紳士を招待して夜會を開かれたるよし

○英國皇孫女御誕生　英國皇子コンノート宮殿下の妃には

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

このほど恙あらせず姫君の御誕生ありたるにつき同國女皇陛下より御親筆の報知書を我が外務省を經てその筋へ贈らせたるよしに聞き傳へぬ

○緬甸國女子の風俗(前號の續き)　農家の婦人の如きハ一家の全收穫米を英國の米商に鬻ぐに其の進退掛引の巧なる事遙に農夫自ら之を鬻ぐものに優れりと云ふ或ハ鄕村の警官外に在りて時に村内偶騷擾あるに當りてハ其妻たる者直に巡査を召呼指揮して犯者を捕へ之を監倉に付すと云ふ之を要するに凡男子の事を處辨するに當りてハ家婦必其の席に陪して時に意見を提出するが如きハ敢て奇とするに足らざるなり是の如きを以て妻たる者ハ一家の内に於て殆ど其全權を占め所謂牝鷄にして晨を告ぐる者比々皆然りとす彼のシーボウ王の如きハ即其の的例と謂ふべきなり」緬甸の婚禮ハ單に嫁娶の事を公にするの一儀式に過ぎずして其の極めて簡古なるハ猶離婚に於けるが如し」一般に傳說する所に據れハ緬甸人ハ老若男女を論せず皆喫烟を嗜ミ孩子の如きも菓子を需めずして卷烟草を乞ふと云ふ是訛說のみ盖緬甸の小兒が喫烟を始るハ其歩行を爲し得るの後にして童男童女が街頭に隊を爲して行々烟草を薰らすを見るハ其の常なり又緬甸の卷烟草ハ甚巨大にして其徑凡一寸に及ぶへし妙齡の婦人が之を口にするハ一奇觀と謂ふべきのみ然れ共緬甸人ハ啻に之を怪まざるのみならず佳人が平常其の情人に贈る所のものハ其手づから卷きたる一束の烟草なりとす(畢)

◎婦人地球週遊記　と題する書は英國婦人社會に有名なるブラッセー女史が世界を週遊したる手記の日記を飜譯したるものにて各國の人情風俗を明かにし殊に日本の事は極めて詳細に記したれば女風改良の今日に當り讀ずんばあらざるの良書なり今度日本橋區本石町二丁目の上田屋より發兌せり

○記者白す　西洋服裁方の原理と題するを本號に譯裁致すべき心得の所餘白なければ次號に讓るべし洋服の事とハ云へ和服裁方の心得ともなる事多かれば次號の出るを待ち給へ

學藝一斑

○理學一斑

(第八節の續)今窓前を見渡せバ風雨あら〱しく木々の葉の動搖するを認むべし假令へばこゝに人ありて彼の木の下に佇立めるをりから風雨ます〱あらくなり行きて木の枝を折りその下に佇立みたる人を折ちて大に傷けたりと假想せんにて

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

れをば「不意の出來事」なりといひろの人は偶然と外出し何氣なく彼の木の下に隱れたるよこの出來事に逢ひたるなりといふべし然れどもこの事ハ偶然のことにもあらずまた不意の出來事にもあらざるなり彼の暴風雨は數百里外に於て空氣中に起りたる原因の結果なり木々の葉の動搖するはその木よ吹きつける風力の故にしてその枝の折るゝことあるは枝の力らと風の力らとの關係より生ずるところの事柄なりまたろの枝彼の人の上に落ちかゝることあるハ他に自然に一定したる原因あることにてろの人の佇立みたる地位などのことも原因と結果の最も後に數ふべき事項なり前にも述べたるごとく原因と結果とは自然の秩序において相互ひに連結して原因より結果を生じまたろの結果より他の結果を生じ續ぎ〱ゝ結果を生じて遂に彼の人をして樹の下なるこの場所に立ち寄り佇立せしめたるがごとき結果となりたるなり
然れども斯く木の枝の折れかゝりて怪我をなせしところの原因と結果との長く纒綿つきて恰も綯へる繩のごときをバ我々人智もて能く解きわくること能はざるところよりかゝる事をば不意の出來事ゐるひは偶然の事即ち眞の怪我なりとハ名づけたるなり

◎列女傳

○越後仙吉夫婦の傳

耕して鹵莽にするときハ其實もまた鹵莽にして予に報ゆ耘りて滅裂にすれば其實も亦滅裂にして予に報ゆとか況て同じところに住み同じ人を惠むとの厚きいかでか善き報いの無らざらむ然れど事の成ると敗るゝとハ勉むると惰るとによりて又いたく違ふとあるべし新潟縣高田のかたほとり川端村といふ地に小田仙吉とて田畑乏しからず所有る農夫ありけり妻ハお常とておよしといふ娘をもてるが夫婦ともに慈善の心いと深し其貧しき人をいたはり惠むと厚く旦暮此事をのみ樂みとしたるが同じ村内の人のみならずそを聞傳へて近傍の人も其庇を仰ぐまゝに何かは久しく支へ得べき我身の上さへ物足らぬ勝ちになり行けど夫婦ハこを憂きとも思ハず田畑を人に預け金を借りなどして旅人の貧窮を救ひしかバいにし九年の春の末よハせむすべ無き迄に落魄はてゝ今ハなか〱憐れさを人にあふ身となりたるが此儘にて朽はれ果むハ遺憾き限りなるにさてハ世になき父母にも不孝の罪深かるべし非常の事をなそにハ又非常の苦しみのあるべき理りなれど此處にありてハ

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

何事も便なかるべしいでや今より東京に出如何なる賤しき業如何なる苦しき事をもして一度もとのさまに挽回さでやは有るべき同じ心ならば伴ひてむ若思ふところ違ひなば今日迄の縁なるべしと思ひ入たる体にて云へばお常は涙をはら〳〵と流して思懸ぬとをも聞くものかな富む時と貧しき時とは萬の事にこそ變りはあれ妹とせの中らひには何の隔の侍るべき生死の苦しき海にともに漂ふ身は憂さ嬉しさもひとつならむころ本意なれ東京は物見にとて好みても行く地なり假令千嶋の國のはて沖繩の縣の末なりとも再びもとの体に挽回す便りよくはつや〳〵辭み侍らじものを情なくものたまふよなど繰返し怨ずれば仙吉はうち喜びつゝ初

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

めよりさわるべしとハ思ひつれど容易からぬ望みをおこして中途にたゆむ心ありてハ成就すべしとも思ハれず然ればこそ先試みに斯ハいひしなれ努々心に懸たまふなゝど労り慰めつゝ聴て村長にも告知らせ親しき限にも斯といへば或人ハいみじくも思ひ立れぬるかなといひ或人ハ都會とても路傍に黄金の捨てあるにもあらず縮布うる人の物語にも近頃ハ思ふ儘に賣れずとかいふなるに幼き人を連て知らぬ境に日を送るハ如何ばかりか苦しからむさても其甲斐ありとならバ強て留むるにハ侍らねど營業も定まらず出立れむハ覺束なき事ならずやなど忠實だちて諫むるも有り多年惠みうけたる人々ハ此處のしこに集合ひつゝ身に代ても引留めむなど語らふもあれど黄金集むるもとみの事にてハ整ハずよし些ばかりの物を取出たりとて彼人の心を安うせむ迄ハ思ひもよらずなどいひ甲斐なき事に日を送る程に仙吉夫婦ハ衣類調度どもなごりなく明日香川のせにのへて流れ行く身の心がまへにもあて打捨てハ得過すまじき方の負債などにも返し戻し今ハ心に懸る雲もなしとて家をば知る人に預けて立出ぬ糸竪とかいふあやしの縫肩にうち掛け菅笠のこぶかきと小さき包みもの手にとりて前にたてば妻ハ白き單衣を裾短にかゝげ三歳になる娘を脊負ひて後べに添へるハ知らぬ人にて見るだに痛ましうあはれなるに頼む木陰と立寄りし人々ハ何ごゝちかハせむ涙に路も見えわかぬばかりに泣て送れバさらぬだに我家のかた顧みがちなる夫婦ハしかすがにいと悲しう物も覺えねばかりなれど末遙なる旅衣よき程にしてかへさずハ何處をそこと限りもあらじと弱る心を勵しつゝ村盡頭なる岐路にたち佇りて別れを告ればまだ朝夕の風寒きに心して煩ひたまふな明果ぬ間に宿を出ると暮過て歩むとハ忘れてもすまじき事と物馴れたる人ハいへりなど心づくるを夫婦かはる〲に一禮して立別れぬ斯く男々しくハ思ひなせど若事ゆかず立歸る時なくハ是や我住むところの見納めならむなど思ハずしも有らねば常ハ目にも留らざりし路傍の松小川の端も目とゞめらるゝこゝちすれど歸るをまつとことほぎもとの身になるべきはしと念にかへりて打過るハ如何心細かりけむ思ひやるだもいと痛まし（つゞく）

◎雜記

○英國演劇の批評

日本の演劇は文學美術の旨に協はざるは固よりその野鄙猥褻且つ概ね古昔野蠻の風俗を演出するものなるがゆゑに現今我

Digitized by Google

Original from
CORNELL UNIVERSITY

邦の開達を妨ぐることまた少きにあらざるべしされば演劇改良の必要なるは今更らいふまでもなきことにして世に作者といひおよび役者といへるものゝ改進を望むは固よりさる事ながら之を觀るものゝ好尙即ちテーストに改良せざる限りは作者演者といへども到底改良を行ふと能はざるべしゆゑに之を單に作者演者のみに責ずして廣く世の觀劇家の思想に改良を促さゞるべからずその改良を促がさんにはまづ諸新聞雜誌等にて時々演劇の批評をおし從來のごとく演者の巧拙のみを評せずして文學美術の旨ま協はず且つ世の改進に害ある所を指摘し或は西洋演劇の事情を知らしむること極めて必要なりと思はるゝなり尤も西洋の演劇なればとて世に聞えたる大家の妙作を除くの外盡く全良無瑕のものなりとはいひ難かるべし今英國女皇新聞の記者が去る五月廿五日セント、ゼームス劇場に於て演したるを批評せしを左に譯出して讀者の一覽に供し以て彼の國批評の有樣および演劇の事情を知らしめんと欲するなり即ちその評に曰く

去火曜日にセント、ゼームス劇場に於て演し甚だ不評判を取りたる「妻の犧牲」といへる演劇は論理學にもまた假りに起る感情の道理にも協はず且つ愁歎場のみの慘劇にして上手なる演者うち揃ひ隨分勉强して勤めたるにも拘はらず愁歎するほどの價値なく觀劇者の眞正の感動を惹き起さゞりし演劇なり實に甚だしく愁歎を脚色て人情に遠く彼の妻たるものゝ死をいへばその苦節は即ち苦節にしてその責任もまた重きに過ぎたりといへども甚だ必要にもあらぬつまらぬ事を態々なして自ら困難に陷りたる此愚なる女丈夫と共に怒りを生ずることは出來がたく妻の方には夫を信せざるほどの道理もなく夫の方にも妻に信せられざるほどの事柄少しもなきがゆゑにたゞ一言あるひは一寸したる身振を以てこの大層なる慘狀を轉ずべき場合は演劇中甚だ多かるに之を知らず顏してその場を過し却て愚か極まる言を以て疑はしき事情を增し遂に己が親屬殘らずの悲痛滅亡を招きたりこの妻女即ちコムテス、ド、モルレーといへる女の苦みは己が愚ゆゑその夫を信せざりしより自ら取りたる愁歎なればその死をば節死といはずして却てその女の愚なるが爲めに死亡せる父母兄弟夫子供等の死をこそ節死といふべけれ今その脚色の大略を述べんに最初の幕明きに於てはこの不幸なる婦人は家内睦まじく夫は此婦人を殊に大切にしまた此婦人も心實から夫を愛し夫婦の間に生れたる子は暫し離るゝこともありしといへども間もなく父母の許に歸

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

りこの婦人の父母たる人達もみな心切もの且つ健全にしてむつましく共に一家に生活し何一つ不幸なることはあらざりし然るにかく愁雲のかゝる隈もなき晴天白日の有様なるところへ忽ち將來に慘酷なる黒雲の蔽ひ來るとは不可思議千万のことゝもにてコムテス、ド、モレーの母は頭らに白髮を頂きいと温良なる老人なるが非常の過誤をなせしより遂に一家内を欺きたるを彼の婦人の承知したるが騒動のはじめなりコムテスドモレーはドラマークといへる武官と結婚し一女子を設けたるがこの武官と結婚せざりし以前一男子を設けたることあり然るにそのとき証據物にあたへ置きし書面を持出しこの婦人に迫ることありて現在の夫に對しひとかたならず苦心するまでにても悲しく且つ不快を感ずること甚だ多かるにこの悲慘ハこゝに止まらず追々騒動となり婦人の兄弟と密々に對面せるところへ夫出で來り大に驚き何ごとなるかを訝かりて詰り問ふに婦人はその事柄をあかさずまた夫の腕をしかと持ちて彼の書面を取らしめじとあらそひ大聲にてその書面を火中に投ずべしといひ増々夫の怒りを惹きおこし老母の意見するをも聞かずして遂にその場において彼の若ものを撃殺しむるに至りたり(以下次號)

○西洋女禮一斑 (前號の續)

(會話の事の續き)然れどもまた一方に於てハその人の職業に關したる話柄に注意すべきことにて直接にその人に關係あることのみを話すハ少しく諂諛に嫌ひあり且つまたその人の技藝のことのみを話すときハその人ハ他事に不學なりとなすに當るなり

總て會話の席にてハ音聲の穏かにして低からんこと婦人にハ殊に何よりも大切なり生れよく教養ある人の音聲ハ一種特別に温和且つ順良の調子あり聲高き話しハいと聞き苦しく甚だ賤しきものなりされバ寧ろ低聲に過ぐるも高聲に失せざることなかるべし

隱語あるひハ方言などを交ゆるハ殊に賤しきものにて近頃ハ婦人中米國の方言などを好んで用ゆるもの多くその習慣ハ今俄かに改むべからずといへども斯やうなることどもの社會の調子および思想の本位を低くするものと心得あるべし隱語方言を以て戲言詼諧となさんとするハ殊にひが事なり

里諺を會話中に用ゆることもまた甚だ賤しきことにて戲言もまた戲言社家會の外ハ愼んで用ゆべからず婦人にハ尙ほ更ふのことなり

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

一般社交上の會話に於て長き論辨は如何に面白しといへども他の人々の退屈を招くことあれバ常に一問題につき長き話をなさゝらんことを勉むべし

宗教上の話柄は決て社交上に持出すべからず

人の談話中その咄しを妨ぐることあるべからず人の話しの腰を折ることは恰も人の歩行なせる前に立ふさがりて進むことを能はざらしむると同樣なり

人の話しを聞くこともまた話を爲すと同じく大切なる技藝にて能く聞くのみに止まらず實に感心して聞くがごとく思はれんことを勉むべし

同席する他の人に通せざる言語を用ひて二人相互よ談話するものは生れのよろしからざる人のなすことにて甚だ忌むべきことなり若し相互に内用わらば別に時と場所とを定めて内談をなすべし如何ぞ他人の前に於てなすを要せん

餘り多人數ならざる宴會などにて外國人ならば可成その國の言語を用ゆべきことと禮の至りなり夜會など多人數の時にても外國人の着せる食卓の近傍ハ勉めてこの定則に從ふべし

人と談話中來客あるときハその客に向ひその前に咄したる大略を述べてその咄しを續くべし　（以下次號）

MAXIMS & PROVERBS.
泰西の箴諺

(甲) A bad thing nevre dies.
㊀ ㊁ ㊂㊄ ㊃

〔意譯〕惡しき物は無くならず

(乙) Hear twice before you speak once.
㊅ ㊄ ㊃ ㊀ ㊂ ㊁

〔意譯〕一度云はんと欲すれば二度聞くべし

MUHITSU NO HAHA.

Onna-aruji hitorino musume wo moteri-keru ga kotosi jūni nizo narikeru. Musume gakkō yori kaerikeru wo mite, haha wa "hayaku odori no sishō ga moto ye yukubesi, haha ga sonata no tosibae narisi toki wa uta mo odori mo itodo toku susumi-tarisi mono wo," to nonosireba, musume ga, "sono toki gakkō nite nan-kyū nite owasesi zo" to iikeru nizo, haha wa tada, "ana kasimasisi"! tozo iikeru.

◎對譯

○泰西箴諺の直譯

(甲)㊀惡き㊁物或は事(は)㊂決て㊃死す㊄なし

(乙)㊀汝(が)㊁一度㊂話そ㊃前に㊄二度㊅聞け

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎新作物語

○巣守の妻　第二回　春のや主人稿

小石川の某町に小さき門構の邸あり。新しき表札には小杜新作となんかいたりける。近所にて聞けば主人はやう／＼に廿二三。立派な好男子で學者なりといふ。母親一個。下女一人。都合三人の暮しなりと聞えぬ。是なん前回の氷店にて突然我人に玄られにたる「小杜の奥さま」の住家なるべし。主人新作の父親といふは抑々何者にてありしぞと問ふに。其名は帆六郎とやらん呼ばれて正しく四國邊の士族なりしが徃時皇室の奉爲に多少の功勞のありしとの事にて一時は榮職よも成昇りし人なり。さしたる材能のありしにもあらねど原來儒門より出たる人にて頗る博覽の名譽高くそれゆゑ洋風の盛んならぬ頃には分過の要路にも當りしなんめり。今を去ること十五六年以前には家内まと／＼く東京にたちいで。たしの麻布邊に占居してありしがそれより八年程以前の頃政府の改革の都合によりて地方の縣官に轉任してふたゝび故國へ引移りぬ。其折やらくに十五になりける倅新作を大阪にとゞめて同地の中學 [illegible] 校に通はせて置きり。しかるに又ざふらふ去年の秋。任地の官海に大波瀾起りて小杜は氣の毒にも免職となりぬ。小心謹厚の性質とて平生心懸が宜かりしかば家富み身長閑でありけるゆゑ斯樣に唐突に免の字となりても周章打歎く境界よはあらねど。さりとて封建廢の習風に慣れて政府のお役人といてるるをば無上の譽なりと思ふ身には流石に免の字が快からず。如何事で何とかして今ひとたび折角物をかけてこしらへた禮服どうか東京にて用ひたいトいろ／＼知交に電氣をかけしに（うれしや）その効能いちじるく今年二月の末つかたに案外よき位置に登用されて又々上京する事とはなりけり。修史官なりしや何官なりしや正しく學者めきし職務なりと聞えしが果してお職掌はなにですか ト再び聞なはさむ問さへもなう（笑止や）六月のはじめつかだ。帆六郎は突然と病に罹りて病むこと四五日にて墓なくなりけり。聞けば霍亂の劇症なりしとか「御列拉流行の折柄なりせば御家内御一同が御難義なるに尚しも今年で結構」トはあんまり馬鹿にした弔の詞ト男ろこ退の老細君が陰にて腹をたつも尤ぞのし。若かりし昔より活潑俠慧もて玄られし身とて斯やうにむくりなら寡婦となりても絶えて取乱せし容子もなく早速大坂より倅を呼びよせし夫の葬式跡目の相續萬事パキ／＼と形をつけて倅新作の將來さへ斯

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

しなあゝしなト誨えたりとハ。さつてもしつかりした婆さまといふべし。本年舊暦にて五十一歳。たゞし氣丈なる故でもあらう歟。打見ハ四十あまり七八とも見えけり。その名を越野とハ古風な名前。馬か履歴でもありハせぬかト内々兎耳で聽あるきて見れば。あるとも〳〵。頗る合巻めく老女の身のうへ。くだ〳〵長ういふも五月蝿ければ。チヨッと掻摘んで物語らふなれば。

文化文政の艸冊子にハ能くあるお定りのお話しながら件の越野といふ老女事ハむかし米通女よてありける頃親と親との約束にて小杜の長男に嫁ぐことゝ極りて振分髪のあどけなき頃より帆六郎を己が夫

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

とたふとみ慕ひて。力彌ヶ於る小浪の如く。信乃に於る濱路のごとく。口にだしてハいはねども二個めでたく祝言の。日を數へつゝ松浦がた。その佐用姫のふるごとを身に思ひしる舅の江戸詰。夫と頼む帆六郎さへ共に吾妻路に上りしかば。事ヶ取紛れて本結婚は思ひの外に延引しつ。花の姿もさだすぎしてそ廿の上に七の字を添へてやうゝ人に添ふ身とハなりにける越野ハ原來利潑なる性質。ことに父母の教育よろしく學問遊藝にも拙からねバ妹と背睦まじきハいふも更なり舅姑の心ヶもかなひて家内いとめでたく和合せしか翌年かあいらしき男兒を儲けぬ。是當主人の新作なり。其後二個までも女の子を産みしがいづれも幼くて身退りしのば夫婦は新作を寳のやうに思ひて塵だもすえじとぞ鍾愛みそだてぬ。それ自家が經驗を模範として我子の將來を推圖るハ昔の親達にハありうちの事なり。小杜の若夫婦の愚ならぬも自身がおさなきより結髮にて長じて都合よく夫婦となりて斯樣に睦まじう暮そにつけて痛く結髮といふ事をば嬉く有がたき事のやうに思ひつ。爭かで新作にも八九歳にもなりなば。さるべき乙女子を選求めて兼て結束しておかいやと思ひて恰ど東京へ立出る以前に日頃いと親しう行かよひしたる蘆田某の末の女の此時やうゝに二歳ばかりなるを夫婦が只管に懇望して倅の後の日の嫁とハ定めぬ。かくて東京にて任官せしもゑ小杜ハ上京して麻布にありしが斯る深き緣故ある事もゑ小杜はさまゞに周旋して蘆田を東京に招き寄せておのれが次官に登用しけり。されども蘆田事ハ無能の人にて所謂「善良」なる頑固者なり。時勢の風潮の進むにつけてたちまち官海より拋げあげられて破船一般なるみすぼらしき樣にて小杜の厄介となりたりしハ今より十年ほど以前の事にて倅新作が十二三の頃なり。「殆んど厄介人の有樣にて小杜に止宿せむハ氣の毒の至り。まことに濟ぬ仕宜。面目ない次第。よしや婿舅の舊約を思ふて小杜は苦い顏を見せざればとて斯して安閑とあるべきにあらず。幸ひ駿州の靜岡ヶは舊知も親戚も多かる事ゆゑ一同該地まで引移りて何とか活計かたを考ふべし」と蘆田はその妻と相談して此旨帆六等に物語れば「そんな心配は御無用になされ。何の貴君方二三人」ト切にいなるゝ程居づらくなり。昔堅氣の蘆田夫婦は竟ヶ六歳になる女を伴ひ主人が抑とむるを強ていろひて俄に靜岡へと赴きけり。その後一年すぎ二年すぐれど蘆田[illegible]音信だもなし。一切は恙なきや。如何ヶせしやうと[illegible]ては獨立の見込をたてゝその後たよりをせむ心組なりしを

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

ろの事思ふやうにならざるゆゑ。わゝいふ負けぬ氣の昔者なるゆゑいたう面目ない事に思ふてわざと音信をせぬことならん。甚だ氣の毒な男なり」ートばかり。最早このごろは小杜夫婦もすこしは開化染て來りしころゆゑ例の結髮の一條なんどはさまでに氣もかけぬ事と見えたり。(つゞく)

◎家政要報

◯玻璃壜掃除法　ガラス壜を清潔にする法は種々あれどもまづ明壜の中へ石炭の粉を入れ湯あるひは水を少し入れ(入れざるも妨げなし)てよく振るべし速に清潔となる尤も臭氣等の去らざるときは木炭の粉を入れ暫く置くときはまた奇妙にその惡臭を去るべし

◯鰹デンブ製法　精良の鰹節一貫目を鉋にて削り之を藥研にて細末となし百目乃至百五拾目位づゝ土器に入れ火上にて乾燥のしめ絹篩よて濾過たる後ち鐵鍋に移し醬油五升味淋一升を注入し煮ると凡そ二十四時間屢々杓子を以て攪拌せ勉めて鍋の底に焦着ざらしめ而して醬油稍々盡るを伺て之を麻嚢に容れ壓搾して餘瀝を去りふたゝび鍋に移し和製上等三盆少し許りを加へ攪和て出來揚れりさて之が貯藏方は壜又は鐵葉鑵等に入れ空氣の侵入を防げば數百日を經るも味ひ變ずることなし但しその手當を欠くも尚は三四十日の間は變味することなし

◯呉服類　は近年來不景氣のみ打ちつゞきたりしが近ごろの天氣續きにて夏物の動きはじめたると諸品拂底なるとにて俄かに直上げをなし縮緬類は總て一割五分より二割絽類は三四割すきや類は一割木綿縮博多結城等も一割方騰貴したりとの事なり

◯白米相場の改正　東京白米商組合の白米相場はこれまで上中下三種なりしがそれにては不便利なればとて更らに種類を增し此の後は一等米より五等米までに分たんと總集會に於て決議したるよし

◯金利　先般預金局ならびに驛遞局等にて預り金の利子を引下げられたるに付三井その他二三の銀行にてもこれまで年六分の利子を附し來りしところ先達てより五分五厘に引下げたるよし

◯相場　白米小賣相場は本月九日改正にて一圓に付一等米(舊上白)一斗一舛八合二等米一斗二舛六合三等(舊中白)一斗三舛三合四等(舊下白)一斗四舛二合五等一斗五舛五合なり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

◎御伽草

○新晴

夕立の雨などり晴れて日影はなやかにさし出たる時雨に降りこめられし子供らおのどち戸外に走り出て戯れさわぐ聲するを母ハ家のうちに聞つけて路の泥濘もさぞあらむ溝の流れも水まして急のらむ轉びて衣をな汚したまひそ陥らバ大事なるべしなど心づくるを子供等ハ聞あへず泥濘へも入らず溝の邊へもゆかず只虹のたちたるを見て居るなりと答ふれば母ハ一層聲高に心して側へよりたまふないと危險きにとぞいひける

○取のへばや

近きころ歐羅巴より歸り來れる建築學士ありけり我國の西洋造りの家を見るごとに彼國のおきてに違へる事多しとて批難しけるをあるやむごとなき人聞たまひておほかたの家づくりハさる事もあらむ我家の建築ハ彼國人の殘る處なく教へて建たるなれば些の違ひもあらじとて其博士を招て見せられぬ博士ハなでりなく見はて〳〵主公に申すやう誠によろづの用意よく整ひて[illegible]かぬ事なしされど未ひとつ取かへまほしき處侍りといへば主公ハ語せわしくそハ何處ぞいふが儘にとく改めてむとのたまへバ博士ハ微音にて此家にふさはしからぬものハ主公にこそ侍れとぞ申しける

○數學問題

(甲)一書あり毎葉二十行毎行二十字つめにして惣字數二万八千三百字あり今これを謄寫して二十四行二十五字つめの書となさんとすれば紙數幾葉を要すべきや

(乙)日出時五時二十五分十五秒なるときハ晝夜の長短時間如何を問ふ

(丙)大小兩分數あり其差ハ十二分三にしてその小分數ハ四十八分七なるときハ大分數若干なるや

○前號數學問題の答

（一）

$6:1^h15^m::11,52:x$

$=1440:60=24.$

答二十四時

高嶋せん子

筒井まつ子

岩見　茂敏

矢利手見太

（二）

$12\times12+1=12\times13$

$=156$

答

一晝夜百五十六點鐘

高嶋せん子

筒井まつ子

矢利手見太

澤邊　潸風

○第二十八號考物答（一）能登（二）遠江（三）鳩[illegible]當選者多田末智○吉田靜子○飯田町邊人○吉岡ふさ。

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

○寄書

○水中に空氣あるや否の答　西村晴子

まつ子君より水中に空氣を含めるや否の御質問に就き御答へ參らせ候申までもなく水中に空氣ある事と存し候其例證は風暴れ渡る日海上を眺むれば一面白泡を以て蔽はるゝは是れ水中の空氣風の爲めに水と混同して生ずる結果にて其空氣の水中に溶解し居る分量は時々刻々一樣には非されとも大凡の少き時は水の容積の百分の一又多き時は二十分の一位との事なり外に魚類の水中にて呼吸する事及び水を充てたる盃を排氣鐘內へ入れ其中の空氣を排出する時は水中より氣泡の浮ぶ等例証夥多有之候かしく

○婚姻弊害論　大嶋盛造述

此篇は東京共立誘進會席上に於て大島氏の演述せられたる筆記なりとて某氏より寄せられたれば玆に掲載す

泰西の碩學ミル氏曰く婚姻は社會を組立るものなりと旨ひ哉言や蓋し社會百般の事業は婚姻よりして起る若し夫れ婚姻なき時は世界の人種皆な玆に盡きん而已亦何ぞ社會を成すを得んや凡そ婚姻なる名稱は男女相配するの義にして各人固より此義務を行ふとなかるべからざるなり彼の佛國の學士セルナレー氏なる者婚姻は淫慾より成るものなりと云ひしが如きは取るに足らざるの論と謂ふべし夫れ婚姻の義務は社會上最も重要なる事にして人々一世の模範是より出るものなれば豈輕々に之れを行ふべけんや然るに本邦に於ては舊來の弊風ありて婚姻のと甚だ其宜きを得ず何となれば只管媒妁の說く處を信じ一瞥の見合を以て輕しく嫁娶を約し甚だしきは男女の諾否に拘らず父母の契約上より强いて嫁娶を決するに至る」又現今自得先生の社會に流行して最も醜く卑しき習慣は綺燈の下酒杯の間一顧半盼裙裾僅かに相觸るの奇緣に由て人生至重の契約を成すものあり東洋社會婚姻の輕忽なる概ね此の如し何ぞ琴瑟相和せず遂に半生の幸福を擧げて之れを烏有に歸するを怪まんや夫れ婚姻の一事は一人一家に止まるもの丶如しと雖とも其習慣の美惡は自ら社會の全体に干渉せざるを得ず其弊害の波及する所淫奔となり爭鬪となり怠惰となり貧困となり子女敎育の輕慢となりて百般の惡風汚俗を社會の間に傳播するに至れり夫れ然り而して余が又述べんと欲する所のものは是より大なる者あり蓋は衛生上に至重の關係ある親族相婚姻を結ぶ者是れなり(以下次號)

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

驛遞局認可

廣告

英國貴女ブラッセー女史著述
内田彌八譯述

増補 婦人地球週遊記

洋装精美全一冊定價金七十錢但シ郵税自辨可仕候

英國ノ貴女ブラッセー女史ハ學識才能共ニ倫頓婦人交際社會ニ名聲ヲ轟カシ婦人ノ亀鑑ト仰ガレシ后我明治九年七月一日自カラ卒先シテ同行ノ衆人ヲ誘ヒ艦船ヲ装ヒ萬人拍手鳴動ノ中ヲ心氣爽然トシテ地球萬國ヲ週遊スルノ途ニ上リ到ル所王侯皇后皇族紳士貴孃等ノ優待ヲ受ケタリ當時歐洲全般ノ耳目ハ女史ノ一身ニ注ギ三人寄レバ必ズ女史ノ雄壯活潑ヲ賞セザルコトナカリシト云フ本書ハ女史ガ其週遊萬國ノ男女交際男女同權男女主僕ノ有様ヨリ男女各自ノ風俗男女宴會ノ有様其佗政治法律生活之摸様等各國ノ風俗人情ヲ記シ殊ニ我日本ノ事ハ深ク女史ノ感覺ヲ惹シモノト見エ日本ノ記事ハ殆ンド全書ノ三分ノ一ヲ占メ我國婦人衣服ノ制頭飾ノ状ヨリ教育品行及智識ノ程度男尊女卑ノ弊害ヲ詳ニシ之ヲ改良進歩セシムルノ法方幷ニ政治法律生活ノ摸様官史等ノ怯懦憶病ナル有様洋服着方ノ不法ナルコ及日本ノ未來記等女史ガ才學兼備ノ筆ヲ以テ悉ク明記セシモノニシテ我同胞ノ警シト思フモノヲモ却テ痛ク誹謗スルアリ又恐シト思ツコトヲモ尚ホ頻リニ賞賛スルアリ記事着々人ノ意表ニ出デ、一度巻ヲ開ケバ喜憂交モ胸裏ニ迫リテ措ク能ハザルベシ乃チ地球萬國ノ珍事奇聞集メテ此書ノ中ニ在レバ苟モ地球上ニ生活スル者殊ニ我日本人タル者就中御婦人達ノ必讀スベキ書ニ御座候付テハ今般弊店ニ於テ發賣仕候間陸續御注文奉願上候

東京日本橋區本石町二丁目
發兌元 上田屋
賣捌所 博文本社、兎屋
鶴聲社、泉市

○帝國文學評議官文科大學敎授文科大學長外山正一先生序○大槻文彦先生序○帝國理科大學敎授東京物理學校長寺尾村生
先跋○日本傍[illegible]

●再版 早書き取りの仕方 全

[illegible]

○定價二十錢○郵税六錢

本書久々品切の處今回二十餘丁を増補し訂正を加へ傍訓を施し新 早書き取りの學ひ方 と題せるものを卷末に附しよ

再版發賣す○

○目次○第一章總論○第二章記號、記號の形單記號單記號の數複記號復記號の數記號の音種記號總數○第三章記號の綴り方記號の綴り方の重もなる例○第四章長音の書き方注意長音の符標常ニ用ふる長音の書き方長音の種々の書き方○第五章及音の書き方及音の符標々音の書き方の重もなる例○第六章結音の書き方結音の符標語音の書き方の重もなる例○第付て七章疊字の書き方疊字符標數種疊字轉用法○第八章書き方にの大凡の字の記號の書様符標數種○第九章記號連語の例○附記用筆用の用紙○附錄早書き取りの學ひ方

東京日本橋區馬喰町
石川治兵衛

舍告

本誌代價表

壹冊	正價金四錢	此郵税壹錢	
拾冊	同金三拾八錢	同	拾錢
二拾冊	同金七拾五錢	同	二拾錢
三拾冊	同金壹圓拾錢	同	三拾錢
四拾冊	同金壹圓四拾錢	同	四拾錢

但シ東京十五區内郵税不申請

本舍は御注文有之と雖とも前金御送附無之間ハ雜誌配達不仕事に相定候に付御注文の節ハ必ず代價郵税共郵便爲替又ハ通運便にて御送附あらんことを希ふ●郵券代用ハ壹錢切手にて一割増し郵便爲替ハ芝區芝口郵便局へ御振込み其爲替券と本舍へ御送附可被下候但し東京十五區内ハ御斷り無之間ハ引續き配達仕候

發行所 東京々橋區南鍋町貳丁目拾壹番地
績文舍
持主兼印刷人 松本義弘
編輯人 初鹿野鎌五郎

女學叢誌大賣捌

東京[illegible] 修正堂
同 神田區淡路町 [illegible]々堂
同 神田區佐柄町廿一番地 東海堂

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY